

事業番号	210
------	-----

平成24年度 事務事業評価シート

事業の概要	事務事業名	クリーンセンター施設管理事業						担当部	環境交通部							
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	廃棄物対策課								
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	環境美化係							
	総合計画 分野別計画	主目的	2 環境交通		6 ごみ対策		1 3Rを推進する									
		副目的														
	予算区分	款	4		項	2		目	3		大	3		中	1	
	根拠法令・個別計画	特になし														
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	1 %		委託	99 %		助成	0 %							
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	市内で収集されたし尿を適正に処理している。														
	内容 (手段)	<p>バキューム車で収集されたし尿を、脱水機を使い水分を取り、水分については生物処理を行い公共下水道へ放流し処理を行っている。残った汚泥については、し尿浄化槽汚泥処理施設の真空乾燥機に送られ乾燥後、処理業者により焼却され埋め立て処分されている。</p> <p>昭和62年度より稼動している施設で、老朽化が進んでいるため、平成21年度に「し尿処理施設整備基本構想策定のため基礎資料」を作成し、これに基づき平成22年度に「クリーンセンター精密機能検査」を実施し、「し尿処理施設整備基本計画書」を策定した。</p> <p>平成23年度は、施設修繕を進めるため、生活環境影響調査を実施し報告書にまとめ縦覧に供じ、平成24年度は、施設整備に係る補助申請や都市計画決定、改修工事仕様書などの作成を行う。</p>														
受益者負担	無															

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	103,458	102,294	118,101	105,001	
		正職員	従事者数	人	0.20	0.20	0.20	0.20
			人件費	千円	1,063	1,063	1,063	1,063
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	104,521	103,357	119,164	106,064	
	対前年比	%		98.8	115.2	89.0		
財源	一般財源	千円	104,521	103,357	119,164	106,064		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	し尿くみ取り量	kl	目標		6,000	5,500	5,500
実績				5,278	5,038	4,632	
		目標					
		実績					
		目標					
		実績					
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	脱水ケーキ排出量	トン	目標		310	300	280
実績				237	242	216	
		目標					
		実績					

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	昭和62年度より稼動している施設のため、老朽化が進んでいるが、適切な維持管理を行い、市内から排出されるし尿の処理を円滑に行った。				
		事業実施における課題等	し尿浄化槽汚泥処理施設の機能も併せた施設とするため、平成25年度から改修工事を実施し、市内のし尿処理に必要な機能を保持する。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	し尿処理事業は、市民の日常生活に欠くことのできない重要な事業であり、し尿処理の必要がなくなるまでは、廃止または休止することはできない。				
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持					
	判定理由	施設の老朽化が進んでいるが、法律で市においてし尿処理をすることが義務付けられており、公共下水道が整備されるまで、処理機能を保持する必要があると判断した。					
	改善案等	昭和62年度より稼動している施設で、老朽化が進んでいるため、平成25年度からし尿浄化槽汚泥処理施設の機能も併せた施設として改修工事する計画である。2施設をまとめる事により、相当の経費節減が図れるものとする。					

二次評価	方向性の判定	判定理由				
	現状維持	一次評価のとおり。				